

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	日本及び世界の水資源確保のための情報の体系的な収集・提供システムの整備に要する経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H21/H23		担当課室	水資源計画課		課長 宮崎 正信	
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外の総合水資源管理に関する情報を収集・共有するため、水資源の情報を定量的に把握するためのデータベース、情報の所在を明らかにする仕組みであるクリアリングハウス、情報のモニタリング体制を確立するとともに、施策の効果や影響なども含めた各種情報を分かりやすく提供できるようなシステムを構築することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	流域の関係者が流域全体の水量・水質の状況を把握し、流域の関係者間の合意形成を可能とするため、水資源情報を蓄積するデータベース、一元的に把握するクリアリングハウス、情報のモニタリング体制を確立した。 また、総合水資源管理を促進するため、諸外国の総合水資源管理に関する情報を収集・共有する体制を構築した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	-	52.885	35.461	13.381	-
		補正予算	-	88.283	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	-	141.168	35.461	13.381	-	
	執行額	-	138.695	26.301	-	-	
執行率(%)	-	98.2	74.2	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	渇水影響度 (渇水による影響を、取水制限率と取水制限日数との積で表したもの)	成果実績		-	7,259日・%	2,255日・%	5,300日・% (23年時点の過去5年平均)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	情報提供システムの調査検討分野数 ※分野: 国内流域の水資源に関する情報 海外の水に関する情報 総合水資源管理に関する事例情報	活動実績 (当初見込み)	分野	-	2	3 (3)	- (3)
単位当たりコスト	9(8.767百万円/3分野)		算出根拠	実績額:22年度実績額 26.301百万円 分野数:22年度分野数 3分野			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	水資源対策調査費	13.381	0	平成23年度中に所要の成果が見込まれることから事業廃止。			
	計	13.381	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・平成22年度の業務発注については、競争性・透明性を高める取組みを進めるため、より競争性を高めた契約手続き（総合評価落札方式）を採用することにより、効率的・効果的で透明性を確保した予算執行を図った。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>・システム整備の効果が早期に施策へ反映されるように、情報共有・提供システムを早期運用開始することとした。平成23年度に試行運用と改造を行い、平成23年度中にシステムの本運用開始する。流域情報の対象水系を8水系から4水系に見直すことで調査費の縮減を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>コスト縮減や業務成果の施策への反映に向けた取組は評価できる。引き続き調査内容の重点化を図るとともに、最新の情報を掲載できるように努め、国内外の利用者にとって使いやすいシステムとする。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>平成23年度中に所要の成果が見込まれることから廃止。今後は調査内容の重点化を図るとともに、最新の情報を掲載できるように努め、国内外の利用者にとって使いやすいシステムとするための検証をすすめる。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
なし			

※平成22年度実績を記入

国土交通省
26百万円

各業務の発注及び監督

【一般競争入札】

A. 民間企業(1社)
26百万円

総合水資源管理のための
情報共有検討業務

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	直接人件費	10			
諸経費	諸経費	12			
技術経費	技術経費	4			
計		26	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パンフィックコンサルタンツ(株)	総合水資源管理のための情報共有検討業務	26	5	74.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					